

# 図書館だより



長い休校期間を終え、学校生活が再開しました。1年生にとってはようやく始まった高校生活、2、3年生にとってはひさしぶりの秋草、ということで、この1週間はとて中身の濃いものになったのではないのでしょうか。

まだ不安な面も色々ありますが、一人一人が予防や体調管理を心がけながら学校生活を再開させていきましょう。

さて、改めまして、1年生のみなさん、入学おめでとうございます。秋草での高校生活でたくさんの経験を積み、成長していきましょう。図書館もみなさんが読書を楽しめるように、学びの場として図書館を活用できるように、環境を整えてきますので、どんどん足を運んでください。館内では本にPOPをつけたり、展示を充実させたり、フリーペーパーを配ったりと、様々な形で本を紹介しています。秋草百選に掲載している本も全て図書館にありますので、3年間で読破できるよう挑戦してください。



## \*季節の移ろいを物語で楽しむ\*

### B913.6-ホ『君と過ごす季節 春から夏へ、12の暦物語』ポプラ社

1年を24の季節で分ける二十四節気。ちょうど今の頃は芒種(6月6日ごろ)と呼ばれます。この後には1年でもっとも昼が長い夏至(6月21日ごろ)がやってきます。この二十四節気のひとつひとつを題材にして注目の作家さんたちがその季節ならではの物語を紡いでいきます。芒種にはとある場所に蒔かれた稲が登場しますし、立春(2月4日ごろ)の物語には節分の豆、立夏(5月6日ごろ)の物語には五月病をユーモラスに捉える主人公が登場します。そんな風に春から夏へ季節が移ろいでいくのを感じながら楽しめる短編集です。

## \*人生をデザインしながら生活を送る\*

### B159-ホ『10代にしておきたい17のこと』本田 健 // 著 大和書房

10代のみなさんはたくさんの可能性を手に入れています。その中から自分で選んだ道を進んでいくことになりませんが、「一体どれが正解なのか」、「自分が本当にしたいことは何なのか」と悩むことが何度もあると思います。悩むことは悪いことではありません。そうやって悩みながら、少しずつ進んでいっているのです。この本が教えてくれるのは、みなさんがこれからよりよい人生を送っていくための考え方や習慣のヒントです。人との触れ合い方や経験の積み方など、たくさんのヒントの中から、自分の心に響くものを見つけてみてください。

## 🏠ステイホームの後も続けたい習慣🏠

学校生活が再開し、少しずつ日常が戻ってくることを願いながら、毎日を送っているところですが、ステイホーム期間にもみなさんにとってプラスになった習慣があるのではないのでしょうか。部屋の断捨離をしたり、手料理や手芸に挑戦したり、苦手科目を学び直したり、と有意義な時間を持てたという人も多いはず。そうした習慣はこれからも続けたいものですね。図書館にはその気持ちを応援する本が色々揃っています。

### 597-コ『人生がときめく片付けの魔法』近藤 麻理恵 // 著 サンマーク出版

こまりの愛称で知られる片付けコンサルタントの近藤麻理恵さんに学ばうりバウンドなしの片付け術。「ときめくモノだけ残す」というこまり流の捨て方から、「限界までシンプルにする」収納まで片付けの技を身につけ、綺麗に片づいた部屋と、晴れやかな気持ちの両方を手に入れましょう。

### 家の掃除や整頓には、こんな本もおすすめ！

😊 597-ニ『掃除の解剖図鑑』NPO 法人 日本ハウスクリーニング協会 // 著 エクスナレッジ

😊 597-ナ『ナチュラル洗剤でちょこっとピカピカ掃除！』世界文化社

### 596.2-モ『全196カ国 おうちで作れる世界のレシピ』本山 尚義 // 著 ライツ社

「世界の料理を、おうちで、気軽に」をコンセプトに、コソボの『チョフテ』(小さなハンバーグ ヨーグルトソース)、ジンバブエの『アフリ』(インド移民風フライドチキン)、エルサルバドルの『ププサ』(豆とチーズのぱくぱくお焼き)など、まだ知らぬ世界の味を作って楽しめるレシピが満載です。

### 料理を楽しむのには、こんな本もおすすめ！

😊 569-オ『休日が楽しみになる屋ごはん』小田 真規子 // 料理 谷 綾子 // 文 文響社

😊 596.6-ヨ『バターなしでおいしいケーキとマフィン』吉川 文子 // 著 誠文堂新光社

## 📖図書館司書の「今月はこの本を読みました」📖

元祖美少年と評判だった『ベニスに死す』のタージオ(ビョルン・アンドルセン)が気になって、大学生の頃ビデオを見ました。その美しさは本当でしたが、ストーリーはよくわかりませんでした。原作を読んで、やっと隠された事情がわかり、奥の深い話だったことに気がきました。芸術家アシェンバツハが老いと死の迫るなか、愛と美と芸術を思考する物語。実はこの自粛期間中話題になったカミュの『ペスト』(B953-カ)をもう一度読み返そうと思ったのですが、読み通すことができませんでした。街にペストが蔓延するなか人々は団結し、保険隊に志願し、記録を残し、必死に闘います。一方、コロナに対し何もできない自分のもどかしさ。そこで『ヴェニスに死す』トーマス・マン // 著 (B943-マ)を読み返してみました。忘れていました。コレラ蔓延が隠されていたのは観光業全体を脅かす莫大な損害への顧慮からでした。文学には人間の営みの普遍性をみることができるのです。【鈴木】

## ★ 図書館で出会う！～【謎】に出会う編～★

梅雨入りがまもなくという感じになってきました。緊急事態宣言が解かれたとはいえ、まだ不要不急の外出は控えたいところ。家で過ごすのにはもう退屈を感じてしまっているかもしれませんが、夢中になって読める本があれば、時間が過ぎるのもあっという間に感じるのではないのでしょうか。そこで、今月は図書館で【謎】と出会う本をみなさんに紹介したいと思います。

人類の謎、動物の謎、絵画の謎など、色々な謎を楽しめる本や、どんな結末が待っているのかわくわくするミステリーなど、色々な謎を展示しています。

### ◆展示本リスト◆

- 209-ダ 『銃・病原菌・鉄』 ジャレド・ダイヤモンド || 著 草思社  
→病原菌も影響を及ぼした人類の進化の謎に多分野からじっくりと向き合ってみませんか。
- 480-イ 『ざんねんないきもの事典』 今泉 忠明 || 著 高橋書店  
→進化の結果、なぜかざんねんな感じになったいきものの体や能力をユーモラスにご紹介。
- 530-マ 『分解してみました』 トッド・マクレラン || 著 パイ インターナショナル  
→普段使っているものの分解された姿に、目が釘付けになります。ミシンがすごかった。
- 689-テ 『ディズニーがもっと楽しくなる魔法のトリビア』 みっこ || 著 KKベストセラーズ  
→アトラクションに込められたストーリー、風景に隠れた魔法、ときめく秘密がいっぱい。
- B723-ニ 『「世界の名画」謎解きガイド』 日本博学倶楽部 || 著 PHP研究所  
→誰もが知る名作絵画も「ミステリー」に焦点を当てて鑑賞すると新たな発見が待っている。
- 913.6-ア 『早朝始発の殺風景』 青崎 有吾 || 著 集英社  
→始発電車に乗る同級生の目的は？後輩が観覧車に誘ってきた目的は？小さな謎に迫る。
- 913.6-ヨ 『ノースライト』 横山 秀夫 || 著 新潮社  
→設計を任せられ望みの新築を完成させたのに、忽然と姿を消した依頼主を建築士が追う。
- B933-ア 『6日目の未来』 ジェイ・アッシャー／キャロリン・マックラー || 著 新潮社  
→まだ存在しないはずのフェイスブックで未来を知った高校生二人がとった行動とは!?

この中でも、いちおしなのは…

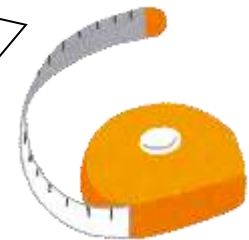
### 913.6-ヨ 『ノースライト』 横山 秀夫 || 著 新潮社

2020年本屋大賞の第4位にも輝いた本書では、主人公の一級建築士が完成した新築を放り出して姿を消した依頼主を追っていきます。依頼主の思いを反映させて作ったはずの家を彼らはなぜ去ったのか、ポツンと一脚だけ残された建築家ブルーノ・タウトの椅子にはどんな意味があるのか、わからないことだらけながらも手探りで真実を解き明かしていき、やがて思いもよらない結末を知ることになります。建築や光の描写にも注目して読んでほしい1冊。

## 🚗 新着本コーナーの気になる1冊 🚗

### 159-キ 『+1cm』 キム・ウンジュ || 文 ヤン・ヒョンジョン || イラスト 文響社

この本には「たった1cm、ものの見方を変えるだけで世界が大きく変わる」という信念がこめられています。誰かとの関係に悩んだ時、夢を追いかけて壁にぶつかった時、日々の忙しさに心の余裕をなくした時などに、みなさんは「もうだめかもしれない」と思うこともあることでしょう。でも、何かを少し変えることができれば、また頑張れる力が湧いてくるかもしれない。この本でそのヒントを見つけてみませんか。



### 489-グ 『キリン解剖学』 郡司 芽久 || 著 ナツメ社



日常生活の中で、キリンのことを考える時間というのは、なかなかないですが、中にはキリンが大好きで、キリンの研究をし、キリン博士になったという人もいます。郡司さんもその一人。キリンの生態をより詳しく知るために行う解剖の様子からは奥深いキリンの体のしくみだけでなく、郡司さんのキリンに対する愛が伝わってきます。これを読んだ後にはキリンへの興味が芽生え、動物園へ行きたくなくなるはず。

### B913.6-テ 『今日のハチミツ、あしたの私』 寺地 はるな || 著 角川春樹事務所

『蜂蜜をひと匙足せば、たぶんあなたの明日は今日より良くなるから』そんな言葉と共に差し伸べられたハチミツは生きる気力をなくしていた碧を救い、彼女は30歳を迎えるまでに成長した。しかし、それでも思いもよらない人生の転機が碧を待っていた。結婚するはずが、蜂蜜園へ弟子入りすることになってしまったのだ。がむしゃらに蜂と向き合う毎日はやがて16年前に緑を救ったハチミツへと続いていく。



### 913.6-モ 『できない相談』 森 絵都 || 著 筑摩書房



「できない相談」というタイトルのこの本に書かれているのは、「日常の小さな抵抗」をテーマにした短編の数々です。主人公たちの他人には理解できない変わったストレス発散法や自分の中にあるどうしても譲れないこだわりは、どこか「その気持ち、わからなくもないなあ」と感じるものだったりします。5ページほどの短い物語ばかりですが、しっかりとオチがついていて、気軽に楽しんで読むことができます。